



左から、草野 良太、星 慶一、伊藤 孝介、池田 征司

この度「フロンティア通信」が発行される運びとなりました。

創刊号ではこれまでの歩み、活動内容の紹介及び、これまで実施してきた内容について説明させて頂きたいと思っております。

東日本大震災により、地元南相馬では地震と津波による甚大な被害に見舞われました。その直後に原子力災害に伴う放射線の影響で壊滅的な状況まで追い込まれました。そんな中、地元の有志が集い、被災地のために自分達が出来ることを。これからの地元を「開拓」していくんだ!という思いを込めて「フロンティア南相馬」は立ち上がり、震災後では福島県で第一号となるNPO法人の認可をいただきました。

原子力災害の影響も、収束までの道のりはまだ程遠く、多くの市民がストレスを抱えた生活を続けております。このような状況下ではありますが、震災直後に団体を立ち上げた時の気持ちを忘れず、今、自分達が出来ることを、地域で生活をする方々、地元行政側との連携を図りながら、復興への歩みを進めるための活動を続けていきたいと思っております。

この「フロンティア通信」を通して、メンバーそれぞれが責任を持ち実行している、多岐にわたる活動内容を、地域の皆様、県外からなど遠方からのご支援をいただいている皆様方に、広く知って頂くことになれば幸いです。今後も皆様からの励ましを胸に、地元復興のために専心していく所存でございますので、何卒ご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

団体概要

法人名	特定非営利活動法人 フロンティア南相馬
設立	平成 23年 4月 1日(6月7日に法人登録認可)
法人登録番号	3800-05-010285
所在地	福島県南相馬市原町区本町1-31 四ツ葉ビル1F
連絡先	0244-22-3500
事業内容	社会教育の促進とまちづくりの促進を図る事業

復興のために、南相馬の未来に、できること・・・



子ども支援活動

2011年9月から現在
南相馬の子どもたちへの
支援活動Project!!
ご家族揃って参加が出来る遠足企画を
運営しています。第1弾・第2弾・第3弾
の遠足企画を実施しました。次回夏開催
及び定期実施に向け準備中。

産業支援活動

2011年9月から現在
Yahoo!株式会社様との協力によりネット
ショッピング内に3.11東日本大震災に
て被災した産業を支援すべく【復興デパート
メント】の開設!支部としての南相馬エ
リアのトータル的な運営管理を行って
います。

生活支援活動

「線量計」無料貸出窓口を開設し、現在
10台稼働中。また団体所有の線量計によ
る地域教育施設通学路の測定活動を実施
しました。測定結果をMAP化し、市役所
及び教育委員会への情報共有を行い、そ
の他、青色安全パトロールも実施予定。



第三弾「春の遠足」5/25-27

こども達の笑顔を守るために。

震災前は、すぐ近くの海水浴場など水と触れ合う機会が多かった南相馬市。市内の小中学校のプールは全て屋外型の為、放射線の影響が懸念される中で水泳の授業にも影響があります。そんな環境下にある子ども達を思いっきりプールで遊ばせたい、という思いから原子力災害により、外での活動が制限されている南相馬市内の子ども達を対象に屋内プールを使った水泳教室を実施しました。



今回で3回目の遠足企画。屋内プールでの水泳教室に加え、屋外でのバーベキューを行いました。インストラクターを講師に招いた水泳教室では、震災後、水に触れる機会が少なくなった事や、

屋外での活動が思うように出来ない子ども達が、どうやったら泳げるようになるかと真剣な眼差しで水泳に取り組んでいま



「ラビスパ裏磐梯」にて参加者と集合写真

した。初めて自分の力で泳げた!と喜んでいる様子や、水泳教室の後、今日は思い切り遊んでいいんだ!と無邪気に水と触れ合う子ども達の笑顔が印象的でした。今後も運動や自然と触れ合う機会を通して、子ども達への「心のケア」が必要だと改めて感じました。自然と溢れるこども達の「笑顔」が、今後の活動の活力を私たちに与えてくれます。これからも保護者様の声を取り入れながら、南相馬に限らず、世界平等である宝の「こども達の笑顔」を守ることに、微力ながら活動力を注がせて頂きます。

<担当：理事長 草野>



福島相双ヒーロー制作委員会

福島県相双地区を中心に活動している正義のヒーロー「相双神旗ディネード」ヒーロー誕生のきっかけとなる子ども達へのデザイン募集などの制作に協力。



みんな共和国

2012年 3/25-4/8

<http://www.frontier-minamisoma.org/gallery/photo11.html>

「南相馬ダイアログ実行委員会」が主催の春休み期間限定の「あそび場」造りに、フロンティア南相馬は、安全に遊べる室内用遊具を提供し、小学校低学年・未就学児対象のプレイルーム*フェアリーキャッスル。を企画運営させていただきました。イベントLOGOをはじめポスター&チラシ等の制作に協力。また会期中には支援者の協力によりこどもを対象とした*化学実験教室。を企画し遊びだけではない場を提供いたしました。

<担当：理事 池田>

当たり前の生活を取り戻すために。

学校通学路における ホットスポット調査MAPの作成



汚染物質が一点に集まった箇所においては「住むことができない場所」に匹敵する線量でありそのほとんどは水の流れが集中する場所が多く、街中の何気ない場所がホットスポットであることも多いのです。対策としてはその土壌や舗装路の浮き砂を除去する以外に方法は無いのですが除去した廃棄物の仮置き場が決まっていない現状において除染作業は遅々として進んでいません。

学校を行き来する通学路において高線量である場所を知らせ「そこに近付かないこと」「早く通り過ぎること」を心がければ無用な外部被曝は回避できると考え、通学路におけるホット

福島第一原子力発電所の事故により南相馬市は警戒区域や計画的避難準備区域、避難勧奨区域など汚染の度合いによって区別され「住んでも良い場所」「住むことができない場所」に大別されました。原町区は20km～30kmの範囲に位置し、放射線量はやや高かったものの事故直後も居住は可能でした。そんな中、南相馬市は昨年秋に学校校舎と校庭の除染のみを行い安全として学校を再開しました。通学路の除染については昨年夏に市が道路を清掃し、各町内会等が高圧洗浄を行った結果主要な道路はある程度の効果を得られたものの、洗った水などが溜まりやすい箇所が高線量となるホットスポットなるものが出来上がってしまったのが現状です。

スポット探索を開始しました。また、子どもたちが遊びそうな広場、イベントの会場などについても独自に線量測定を行い公表しています。

こちらの結果に関しては南相馬市の除染対策室および教育委員会へ提出をいたしました。

市民の間に慣れが生じてきた感もありますが、まだ何も解決していないことを忘れてはいけないのです。南相馬市小高区の全域は今現在も居住を許可されていないのだから。

<担当：副理事長 上野>

風評被害に負けないチカラを。



南相馬市は、放射能汚染が認められない産業品にまで買い控えが起こり深刻な風評被害に晒され市場の縮小及び減少が起こっています。ふんばり続ける産業を支援するためにヤフー株式会社と協力提携を結び、ネット販売ページ「復興デパートメント」を昨年12月に開設しました。

ヒストリーページと動画メッセージをUPし全国へ安心安全な商品をご紹介します。地元商店や病院などの運営情報をはじめ、地元民の生の声を全国に送る

コンテンツを拡充することで、県外避難者や県外支援団体への情報ツールとしての確立をめざしております。

現在は南相馬エリアから浜通りエリアに拡大し、出店数は13店舗となり、出店者と共に風評被害に負けない力を求め踏み張り続けています。

<担当：理事 池田>



南相馬の未来にできること



NBAユースキャンプジャパン Big things are coming!

2012

6月

15日
FRI17日
SUN

NBAとアメリカ大使館TOMODACHIの支援によって「NBAユースキャンプジャパン」に南相馬の子どもたちを招待いただきました。NBAユースキャンプは、昨年起きた東日本大震災に対し、NBAが日本にエールを送る意のもとに企画されたジュニアキャンプです。フロンティア南相馬は、コーディネートとアテンドをさせていただきました。

今回は南相馬市の原町第一中学校、原町第二中学校のバスケット部の生徒20名が参加し、往年の名プレイヤー“ムトンボ選手”や元NBAプレイヤーの“田臥選手”らのアドバイスをもらえ、本場のNBAのコーチたちに指導してもらえる素晴らしい機会となりました。参加した生徒たちも同行した顧問の先生も今回の企画で世界を肌で感じ、刺激を受けておりました。真剣な眼差しで、NBA選手に指導してもらっている姿をみて、子どもたちの夢を与える良い機会になったと実感しました。

ぜひ、学んできた技術を今回参加できなかった生徒たちへも共有してもらい、今後の活躍に活かして欲しいです。

<担当：理事 伊藤>

支援のお願い

フロンティア南相馬は「子ども支援」「産業支援」「生活支援」の3本の柱を軸に活動しています。子どもたちの未来や地域の復興など、今後の活動を継続的に行うため皆様のご理解とご賛同宜しくお願い申し上げます。

【認定NPO法人格取得】

フロンティア南相馬では認定NPO法人格の取得を目指しております。平成23年6月22日に公布された「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律」により、新たな認定制度の整備が行われ、平成24年4月1日から施行されました。この新制度を活用し、認定NPO法人となることで安定した支援活動の継続および活動の幅を広げるための組織基盤の強化が可能となります。年間100名以上の支持者の方から3,000円以上の寄付が条件となっております。

皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

詳しくは団体公式HPへ。

支援金受領報告

3.11より一年が過ぎ、熱い想いを胸に活動を続けていくと誓った我々「NPO法人フロンティア南相馬」宛に、皆様より多くの支援金を頂きました。こちらでご報告させていただきます。

- はな募金 様(東京都) 151,415円
- ベラ・ムジカ 様(大阪府) 50,000円
- 個人様(東京都/千葉県/京都府) 114,500円

お預かりいたしました支援金は「子ども支援活動」に役立てさせていただきます。具体的な活動や活用につきましては団体HPにて、追ってご報告いたします。みなさまの“お心”大切にに使わせていただきます。



団体公式HPにて各活動の報告や、近況報告、イベント告知などの他、子ども達の“笑顔”が溢れた写真や動画を掲載させて頂いています。



携帯から
チェック!

<http://www.frontier-minamisoma.org/>

下記からも近況をご確認頂けます。

facebook

<http://www.facebook.com/npoFRONTIERms>

twitter

@npoFRONTIERms

「フロンティア通信」2012.8 創刊号

発行元：NPO法人 フロンティア南相馬
福島県南相馬市原町区本町1-31 四ツ葉ビル1F

制作：森川千依